

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターかしのき園（保育所等訪問支援）			
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～	令和6年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～	令和6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○訪問先施設評価実施期間	令和6年 10月 1日		～	令和6年 10月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問先の職員との信頼関係は深まっていると感じる。 ・大人、子どもに関わらず肯定的に考え、褒めることを大切にしている。 ・専門的な知識をもつ支援員を配置している。	・繊細なことでも訪問先の職員の取り組みや気づきを褒めるようにしている。	・訪問先職員が発達特性についての理解が深まり、実践に活かせるように情報提供をしていく。
2	・専門職としての知識を助言することで子どもが良い方向へ変化している。	・子どもの言動を観察し、意図をさぐるなど援助に繋げている。	・他機関との連携、研修の参加など、情報共有や知識向上に繋げていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援員が少なく、支援の利用希望の依頼があっても、サービス提供ができない状況。 ・支援員が他の職務と兼務のため、多くのケースを受けることができない。	・経験年数が長く知識豊富な職員が少ない。	・まずは、保育所等訪問支援の内容や日頃の業務中に助言したことなどを職員がもっと考え知っていき、訪問支援事業の理解を深めていく。
2			
3			